

『福岡外食応援団 GOOD UP FUKUOKA』アンケート(概要)

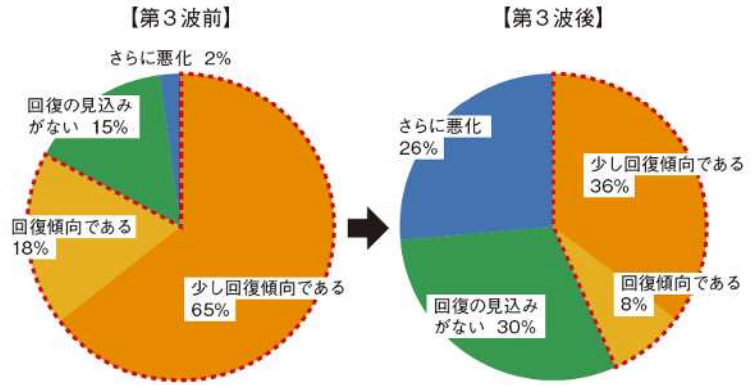
当所では、参加店舗に対し、本プロジェクトに対するご意見
ご要望のヒアリングと参加店舗の経営状況を把握する目的でア
ンケート調査を実施しました。

《調査概要》(1)対象：参加店舗639店(任意)
(2)実施期間：令和3年1月4日(月)～29日(金)
(3)回答数：99店(回答率15.5%)

〈アンケート結果〉

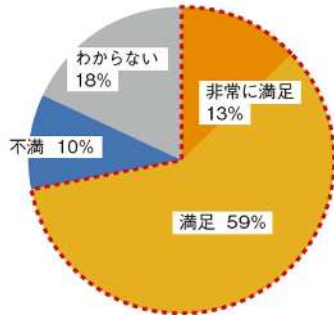
■第1回緊急事態宣言期間中(令和2年4・5月頃)と比較して、第3波(令和2年11月頃)前後の売り上げ状況をお聞かせください。

第1回緊急事態宣言期間中と比較し、**第3波前**は約8割が回復傾向にあると回答したのに対し、**第3波後**は約4割に減少。第3波の到来により、売上の回復度は再び悪化傾向。



■本プロジェクトの満足度を教えてください。

回答者の**70%以上の方が、「満足」以上**と回答しており、全体的な満足度は高いと考えられる。



👍 本プロジェクト
人気ツール・サービスBEST3

1位	タベストリー
2位	15秒のPR動画の無料作成
3位	Instagramでの情報発信 Go To Eatアイコン設置 同率

また、本プロジェクトの継続希望の有無を聞いたところ、**回答者の半数以上が「継続してほしい」と**回答した。

■当所または行政等の飲食店支援事業に対するご意見・ご要望をお聞かせください。

- 飲食店がしっかり対策をしても、協力してくれないお客様もいらっしゃるの、利用者側の意識も高めていただきたい。「外食=悪事」にならないことを願う。
- 年が明けて状況はさらに悪化。厳しい状況はまだ続くと思うので、継続した支援をお願いしたい。
- もっと取り組み自体の認知度を上げて集客力をアップして欲しい。また、お客様に安心してお食事をしていただけるように、さらにアピールできる物があればさらに良い。

■GOOD UP 飲食店の声

「福岡の食文化を元気にする」というキャッチが気に入って参加。GOOD UP特典を利用して多くの方に来店をしていただき、「安全対策実施店」としてPRができた。一時、コロナ前売り上げの75～80%まで戻っていたが、書き入れ時の年末から状況は悪化。緊急事態宣言解除後は、お客様を含め飲食業が“もっと元気になる”取り組みを期待!!



株式会社しゃぶ禅福岡 代表取締役
石橋 修氏

お客様に安心してご来店いただけるよう、このプロジェクトに参加し、実施する感染対策の情報発信をしている。参加したことで、スタッフたちも感染対策に対する意識が高まっている。
2度目の緊急事態宣言後、お客様の数も半減している。卸業者や生産者など、飲食業に係るすべての事業者に対して規模に応じた支援をお願いしたい。



ビストロ マツシマ オーナーシェフ
宗 勇人氏